



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コロナ

コード番号 5909 URL <https://www.corona.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大桃 満

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長兼
情報システム部担当 (氏名) 五十嵐 義夫 (TEL) 0256-32-2111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	69,248	0.2	1,688	△27.6	2,079	△21.2	1,511	△19.7
2025年3月期第3四半期	69,125	2.6	2,332	△5.7	2,638	△6.5	1,882	△8.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,028百万円 (0.6%) 2025年3月期第3四半期 2,015百万円 (△22.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	51.70	—
2025年3月期第3四半期	64.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	107,192	77,524	72.3
2025年3月期	102,226	76,282	74.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 77,524百万円 2025年3月期 76,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2026年3月期	—	14.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通 期	86,700	1.7	1,000	△25.6	1,400	△17.9	1,000	△9.4	34.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	29,342,454株	2025年3月期	29,342,454株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期3Q	97,614株	2025年3月期	133,548株
------------	---------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	29,231,637株	2025年3月期3Q	29,196,816株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善した一方で、原材料・エネルギー価格の高止まり、物価上昇等による経済活動や国民生活への影響が続きました。また、各国の通商政策などによる景気の先行き不透明な状況が継続しております。

住宅関連機器業界においては、新設住宅着工戸数は前年を下回るなど引き続き弱含みで推移しました。

このような状況の中、当社グループは持続可能な社会に向けた「2026ビジョン」の実現を目指し、第10次中期経営計画のもと、3つの基本戦略「脱炭素社会に向けた事業ポートフォリオの再構築」「『楽』から『楽しい』への事業領域拡大」「経営基盤の再構築」の取り組みを進めました。「脱炭素社会に向けた事業ポートフォリオの再構築」においては、エコキュートなどヒートポンプ機器の生産合理化及び設備増強に取り組んだほか、高効率なヒートポンプを熱源とし、快適性と省エネ性を両立した温水暖房システム「コロナエコ暖システム6.0」をラインアップに追加しました。「『楽』から『楽しい』への事業領域拡大」においては、コンパクトサイズで寝室などでも使いやすいハイブリッド式加湿器「HSシリーズ」中能力タイプに加え、「OUTFIELD」ブランドの新シリーズ「ナイトブラックエ디션」の暖房機器を発売しました。「経営基盤の再構築」においては、DX人材育成に向けた取り組みやデータ活用による業務効率化の取り組みを推進しました。

これらの取り組みにより、製品の種類別売上高の概況は、以下のとおりとなりました。

<暖房機器>

暖房機器の売上高は、20,632百万円(前年同四半期比3.2%減)となりました。

石油暖房機や電気暖房機は、前年に比べ流通在庫が適正水準に戻ったこともあり初回導入は順調に進んだものの、需要期の気温が全国的に高く推移したことなどが影響し、暖房機器全体は前年同四半期を下回りました。

<空調・家電機器>

空調・家電機器の売上高は、12,207百万円(前年同四半期比8.2%減)となりました。

ルームエアコンは、設置工事が不要なウインドタイプが順調に推移したものの、メーカー間の販売競争の激化などの影響もありセパレートタイプが前年同四半期を下回りました。また、新モデルを加えた加湿器は感染症の流行などもあり好調に推移したものの、除湿機については梅雨明けが早かったことなどが影響し販売が伸び悩み、空調・家電機器全体は前年同四半期を下回りました。

<住宅設備機器>

住宅設備機器の売上高は、32,001百万円(前年同四半期比7.6%増)となりました。

エコキュートは、政府の補助金制度を活用した積極的な販売活動を進めたことで順調に推移しました。また、家庭用給湯・暖房システム用のヒートポンプユニットの販売増加、石油給湯機は価格転嫁が進んだことなどにより、住宅設備機器全体は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は69,248百万円(前年同四半期比0.2%増)となりました。利益面については、住宅設備機器が順調に推移したものの、暖房機器や空調・家電機器の販売減少、原材料などの仕入価格や人件費、業務合理化に向けた関連費用などの販売費及び一般管理費の上昇もあり、営業利益は1,688百万円(前年同四半期比27.6%減)、経常利益は2,079百万円(前年同四半期比21.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,511百万円(前年同四半期比19.7%減)となりました。

『当社グループの四半期業績の特性について』

当社グループは、通年商品の住宅設備機器のほか、夏季に需要の多いルームエアコンを中心とした空調・家電機器と冬季に需要の多い暖房機器を取り扱っているため、業績に季節的変動があります。売上高及び利益は、暖房機器の割合が高い第3四半期連結会計期間に増加する傾向にあります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比べ6,497百万円増加し、59,033百万円となりました。これは商品及び製品が3,228百万円減少した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が7,191百万円、電子記録債権が2,676百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

商品及び製品につきましては、主に空調・家電機器及び暖房機器の在庫が減少しております。売上債権につきましては、当社グループの売上高には季節的変動があり、前連結会計年度より第3四半期連結会計期間が大きくなる傾向にあるためであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比べ1,531百万円減少し、48,159百万円となりました。これは投資有価証券が1,513百万円減少したことが主な要因であります。

投資有価証券につきましては、主に時価の上昇により増加した一方、償還期限が1年未満になった債券の振替により減少しております。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比べ4,026百万円増加し、26,717百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が1,519百万円、未払法人税等が737百万円、流動負債のその他が1,772百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

支払手形及び買掛金につきましては、主に空調・家電機器の生産量が減少した一方、暖房機器の生産量の増加に伴い増加しております。未払法人税等につきましては、当社グループの売上高の季節的変動に起因し、第3四半期連結会計期間末における課税所得が増加する傾向にあるためであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比べ301百万円減少し、2,950百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比べ1,241百万円増加し、77,524百万円となりました。株主資本においては、利益剰余金が配当金の支払により818百万円、自己株式処分差損の振替により3百万円それぞれ減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により1,511百万円増加しております。また、自己株式が処分などにより35百万円増加しております。その他の包括利益累計額においては、その他有価証券評価差額金が511百万円、退職給付に係る調整累計額が4百万円それぞれ増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日に公表した数値から変更しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,544	4,381
受取手形、売掛金及び契約資産	9,786	16,978
電子記録債権	11,116	13,793
有価証券	11,200	10,288
商品及び製品	13,665	10,437
仕掛品	641	768
原材料及び貯蔵品	1,149	1,098
その他	1,433	1,297
貸倒引当金	△2	△11
流動資産合計	52,536	59,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,465	3,288
土地	10,210	10,210
その他（純額）	3,205	3,227
有形固定資産合計	16,881	16,726
無形固定資産	360	387
投資その他の資産		
投資有価証券	22,664	21,150
その他	9,808	9,914
貸倒引当金	△24	△19
投資その他の資産合計	32,448	31,045
固定資産合計	49,690	48,159
資産合計	102,226	107,192
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,457	17,976
未払法人税等	230	968
製品保証引当金	515	511
その他	5,487	7,260
流動負債合計	22,691	26,717
固定負債		
退職給付に係る負債	15	11
その他	3,237	2,939
固定負債合計	3,252	2,950
負債合計	25,944	29,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,449	7,449
資本剰余金	6,686	6,686
利益剰余金	59,503	60,193
自己株式	△130	△95
株主資本合計	73,509	74,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	684	1,195
土地再評価差額金	744	744
退職給付に係る調整累計額	1,344	1,349
その他の包括利益累計額合計	2,772	3,289
純資産合計	76,282	77,524
負債純資産合計	102,226	107,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	69,125	69,248
売上原価	53,951	54,295
売上総利益	15,173	14,952
販売費及び一般管理費	12,841	13,264
営業利益	2,332	1,688
営業外収益		
受取利息	142	190
受取配当金	72	97
有価証券売却益	1	—
持分法による投資利益	24	36
その他	89	76
営業外収益合計	330	400
営業外費用		
支払利息	2	5
有価証券売却損	17	—
為替差損	3	3
その他	0	0
営業外費用合計	23	9
経常利益	2,638	2,079
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	0	8
特別利益合計	3	10
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	4	2
投資有価証券売却損	0	0
その他	0	—
特別損失合計	5	3
税金等調整前四半期純利益	2,636	2,086
法人税、住民税及び事業税	1,235	1,106
法人税等調整額	△481	△531
法人税等合計	754	574
四半期純利益	1,882	1,511
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,882	1,511

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,882	1,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	511
退職給付に係る調整額	31	4
その他の包括利益合計	133	516
四半期包括利益	2,015	2,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,015	2,028
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業は、住宅関連機器の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,206百万円	1,524百万円